

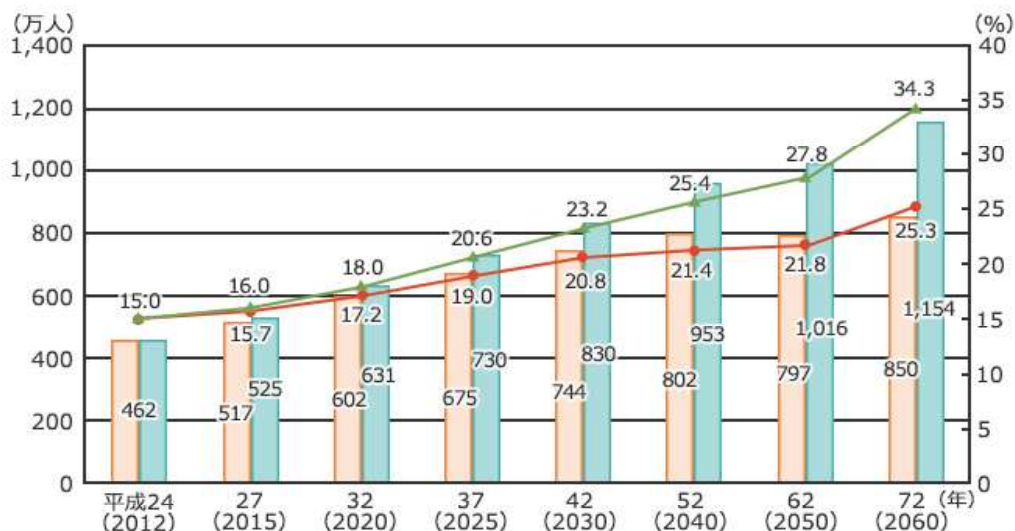
「ブレインフード」対応素材 アミノチオネイン®

認知症の 現状

令和7(2025)年には65歳以上の認知患者数が推定700万人に

認知症の前段階と言われる軽度認知障害(MCI)

軽度認知障害:MCI(Mind Cognitive Impairment)とは、認知症になる確率が非常に高い状態のことです。認知機能(記憶、決定、理由づけ、実行など)のうちの一つの機能に問題が生じてはいますが、日常生活には支障がない状態です。



各年齢の認知症有病率が一定の場合(人数) 各年齢の認知症有病率が上昇する場合(人数)
各年齢の認知症有病率が一定の場合(率) 各年齢の認知症有病率が上昇する場合(率)

出展:厚生労働省「新オレンジプラン」「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」

ブレインフード 対応素材とは

タモギ茸

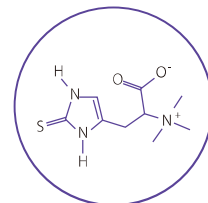
ヒラタケ科のキノコ(英名:ゴールデンオイスターマッシュルーム)

北海道や東北で鍋物やみそ汁などに用いられるキノコです。味はまろやかで良いダシが出ます。かつては流通量の少ないキノコでしたが品種改良を重ね、現在は安定供給されています。安全性と美味しさから学校給食でも広く使われています。



エルゴチオネイン(ERGO)とは

血液や臓器に多く存在する親水性アミノ酸誘導体で、OCTN1というトランスポーター(輸送体)を介して体内に取り込まれます。ヒトの体内では生成できないことが知られており、タモギ茸などの食品に多く含まれています。



うつ病改善効果



抗うつ作用のある
食品添加剤



加齢に伴う持続的
注意力低下の改善用組成物

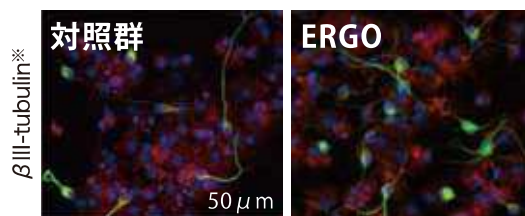


認知機能速度
改善用の組成物

ブレインフード
対応素材の
可能性

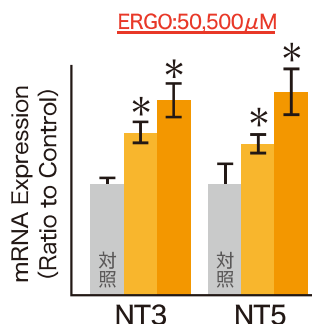
① 脳神経細胞を増やす働き

OCTN1を通して血液脳関門を潜り抜けたエルゴチオネインは脳の中に入り、脳神経細胞を増やします。



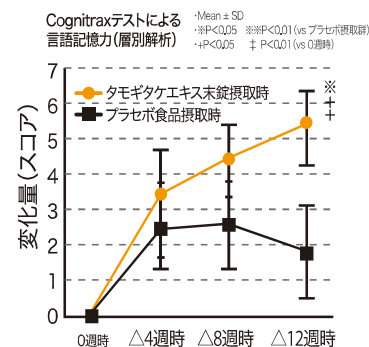
※ β III-tubulin:神経細胞のマーカー

② 神経成熟を促進 (記憶力を回復)

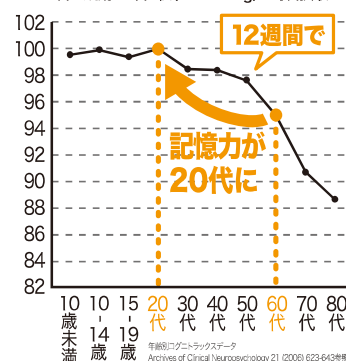


脳神経細胞を増殖させるだけでなく、シナプス形成を手伝い成熟化させます。

③ ヒト臨床試験実証



ERGOを含む錠剤を1日4粒(ERGO5mg)を毎日摂取



エルゴチオネイン1日5mg摂取

製品名

アミノチオネイン®

製造工程



起源原料

タモギ茸

原材料表示例

タモギタケエキス末
(タモギタケエキス、デキストリン)

荷姿

5kg

最終加工地

日本

賞味期限

2年

保存方法

直射日光を避け常温で保存

規格

エルゴチオネイン1.0%以上